

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【公開番号】特開2015-228537(P2015-228537A)

【公開日】平成27年12月17日(2015.12.17)

【年通号数】公開・登録公報2015-079

【出願番号】特願2014-100395(P2014-100395)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

G 0 3 B 17/18 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 A

H 0 4 N 5/225 B

G 0 3 B 17/18 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月12日(2017.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本体と、

前記本体に対して、表示面が背面側に向く第 1 の状態と前記表示面が前面側に向く第 2 の状態とに回動可能な表示部と、

前記第 1 の状態において、表示面の中央部に表示された直線の傾きの大きさに前記本体の傾きの大きさを認識可能にした電子水準器を前記表示部に表示すると共に、前記電子水準器よりも前記表示面の外周に近い位置にアイコンを表示し、前記表示部が前記第 1 の状態から前記第 2 の状態へと変化した場合には、前記電子水準器を前記直線の中心点が変わらない態様で反転表示させると共に、前記アイコンを上下左右方向に反転表示させる表示制御部と

を備えた撮像装置。

【請求項 2】

前記アイコンは、撮影モードを示すモードアイコンを含む

請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記本体は、所定の操作部を有し、

前記表示制御部は、前記モードアイコンを、前記表示面において前記所定の操作部に対して反対側の位置に表示させる

請求項 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記本体は、撮影時に横向きの姿勢位置と縦向きの姿勢位置とに選択可能である

請求項 1 ないし 3 のいずれか 1 つに記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記本体は、前記第 1 の状態と前記第 2 の状態とで、割り当てられる機能に変化する操作部を有する

請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 6】

前記表示制御部は、前記アイコンを、前記電子水準器に対して少なくとも上側に表示させる

請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 つに記載の撮像装置。

【請求項 7】

前記表示制御部は、前記電子水準器を前記アイコンよりも大きく表示させる

請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 つに記載の撮像装置。

【請求項 8】

前記電子水準器は、前記直線と、前記直線の両端部に表示された円弧状の部分とを含む

請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 つに記載の撮像装置。

【請求項 9】

前記表示部に表示する所定の撮影情報の表示内容を指示する操作部をさらに備え、

前記表示制御部は、前記所定の撮影情報の表示内容を前記操作部の指示に応じて変化させると共に、前記第 1 の状態と前記第 2 の状態とで、前記操作部による指示状態と前記表示内容との対応関係を変化させる

請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 10】

前記操作部として、前記表示内容を操作方向によって選択可能な方向選択部を有し、

前記表示制御部は、前記表示内容を前記操作方向に応じて変化させると共に、前記第 1 の状態と前記第 2 の状態とで、前記操作方向と前記表示内容との対応関係を変化させる

請求項 9 記載の撮像装置。

【請求項 11】

前記方向選択部は、右回りおよび左回りに操作方向を変化させることが可能なリング状操作部である

請求項 10 に記載の撮像装置。

【請求項 12】

前記操作部として、前記表示内容をボタン位置によって選択可能な複数の操作ボタンを有し、

前記表示制御部は、前記表示内容を前記複数の操作ボタンの操作に応じて変化させると共に、前記第 1 の状態と前記第 2 の状態とで、前記複数の操作ボタンと前記表示内容との対応関係を変化させる

請求項 9 に記載の撮像装置。

【請求項 13】

前記表示制御部は、前記第 1 の状態において、さらに、前記表示面に被写体のライブビュー画像を表示させると共に、前記表示部が前記第 1 の状態から前記第 2 の状態へと変化した場合には、前記ライブビュー画像を上下左右方向に反転表示させる

請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 14】

ビューファインダー、をさらに備える

請求項 1 ないし 13 のいずれか 1 つに記載の撮像装置。

【請求項 15】

前記本体は、ビューファインダー操作部を有する

請求項 14 に記載の撮像装置。

【請求項 16】

前記ビューファインダーは、前記本体内に収納されると共に、使用時に前記本体の上方に突出するようになされ、

前記表示制御部は、前記表示部が前記第 2 の状態である場合に、前記ビューファインダーの収納状態に応じて、前記表示部の表示状態を変化させる

請求項 14 または 15 に記載の撮像装置。

【請求項 17】

前記表示制御部は、前記表示部が前記第 2 の状態にあり、かつ、前記ビューファインダーが前記本体の上方に突出している状態では、前記前面側から見て前記ビューファインダーと前記表示部とが重なる部分以外の領域を表示エリアにする

請求項 1 6 に記載の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本開示による撮像装置は、本体と、本体に対して、表示面が背面側に向く第 1 の状態と表示面が前面側に向く第 2 の状態とに回動可能な表示部と、第 1 の状態において、表示面の中央部に表示された直線の傾きの大きさを本体の傾きの大きさを認識可能にした電子水準器を表示部に表示すると共に、電子水準器よりも表示面の外周に近い位置にアイコンを表示し、表示部が第 1 の状態から第 2 の状態へと変化した場合には、電子水準器を直線の中心点が変わらない態様で反転表示させると共に、アイコンを上下左右方向に反転表示させる表示制御部とを備えたものである。